

各 位

会 社 名 株式会社日本ハウスホールディングス
 代表者名 代表取締役会長 成田 和幸
 (コード：1873 東証プライム)
 問合せ先 取締役常務執行役員 河瀬 弘一
 T E L (03) 5215-9907

業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩し並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年6月8日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。また、下記のとおり繰延税金資産の取り崩し並びに配当予想の修正を行うこととなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

① 2023年10月期通期 連結業績予想数値の修正 (2022年11月1日～2023年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,200	2,440	2,170	1,210	30.25
今回修正予想 (B)	39,103	973	684	△47	△1.20
増減額 (B-A)	△ 1,097	△ 1,467	△ 1,486	△ 1,257	
増減率 (%)	△ 2.7%	△ 60.1%	△ 68.5%	—	
[ご参考] 前期実績 (2022年10月期)	42,778	2,523	2,329	1,474	36.87

② 2023年10月期通期 個別業績予想数値の修正 (2022年11月1日～2023年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,500	2,320	1,430	35.75
今回修正予想 (B)	34,633	536	△118	△2.97
増減額 (B-A)	133	△ 1,784	△ 1,548	
増減率 (%)	0.4%	△ 76.9%	—	
[ご参考] 前期実績 (2022年10月期)	38,261	2,010	1,298	32.47

(2) 修正の理由

連結売上高の減少につきましては、ホテル事業において、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが2023年5月に5類へと移行しましたが、集客及びホテル稼働の本格的な回復には至らず、売上高が8億円減少する見込みであることが主な理由であります。営業利益及び経常利益については、当社の主力事業である住宅事業において、建設コストの上昇等に伴い、売上原価率が悪化したことに加え、ホテル事業の売上減少により、実績が予想を下回る予定であります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益の減少要因に加え、課税所得の減少に伴い、「2. 繰延税金資産の取り崩しについて」に記載のとおり、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を計上したことにより、実績が前回予想を下回る見込みです。

個別業績予想につきましても、上記と同様に、経常利益・当期純利益が前回予想を下回る見込みです。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

今後の業績動向を勘案し、将来の課税所得を保守的に見積もり、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2023年10月期連結計算期間において、繰延税金資産542百万円を取り崩し、法人税等調整額を542百万円計上いたしました。

3. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正の内容

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2022年12月12日公表)	—	6.00	—	6.00	12.00
今回修正予想	—	—	—	5.00	11.00
当期実績	—	6.00	—		
[ご参考] 前期実績 (2022年10月期)	—	10.00	—	10.00	20.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要政策のひとつと考えており、連結配当性向30%前後を目安としております。当期の期末配当につきましては、上記のとおり当期純損失47百万円を計上する見通しですが、安定的な配当の維持を基本に、経営基盤の強化に必要な内部留保の確保などを総合的に勘案し、当初予想1株当たり6円から5円にさせていただくこととしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績、配当額等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上